



令和 5 年 11 月 27 日

「2023 年ノーベル賞解説講演会」を開催します
(12/10 開催)

今年のノーベル物理学賞は、「アト秒」と呼ばれるきわめて短い時間だけ光を出す実験的な手法を開発し、物質を構成する細かな粒子の 1 つ、「電子」の動きを観察する新たな研究を可能にした、欧米の大学の研究者 3 人が選ばれました。

ノーベル化学賞には、「量子ドット」と呼ばれる、1 ミリの 100 万分の 1 という「ナノ」サイズの極めて微細な結晶を発見するなどして、「ナノテクノロジー」の発展につながる基礎を築いたアメリカの大学の研究者など 3 人が選ばれました。

またノーベル生理学・医学賞には、新型コロナウイルスの「mRNA ワクチン」の開発で大きな貢献をした、ペンシルベニア大学の研究者 2 人が選ばれました。

これらを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2023 年ノーベル物理学賞、ノーベル化学賞、ノーベル生理学・医学賞についての解説講演会を開催いたします。是非ご参加ください。

記

【日時】2023 年 12 月 10 日（日） 13:00～16:30（開場 12:30）

【場所】広島大学東千田未来創生センター M201・202 講義室
(広島市中区東千田町 1-1-89)

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【講演者・タイトル】

13:00～ 加藤 政博（広島大学放射光科学研究センター・特任教授）
「電子の動きを捉えるアト秒の光」

14:00～ 齋藤 健一（広島大学自然科学研究支援開発センター・教授）
「量子ドット：7 色に光る不思議な微粒子 -TV,太陽電池,ガン治療へ-」

15:00～ 保田 朋波流（広島大学大学院医系科学研究科・教授）
「医療が大きく変わる!? 修飾 mRNA 技術」

講演終了後 質問コーナー

【参加費】無料

【お申し込み】不要

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター
E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp
Tel : 082-424-4384

2023年

ノーベル賞 解説講演会

○ 事前申込不要
○ 参加費無料
どなたでもご参加ください

日時

場所

12月10日(日)
13:00-16:30 (開場12:30)

広島大学東千田未来創生センター
M201・202講義室

13:00- 物理学賞 電子の動きを捉えるアト秒の光

加藤 政博

放射光科学研究センター
特任教授



14:00- 化学賞 量子ドット:7色に光る不思議な微粒子-TV,太陽電池,ガン治療へ

齋藤 健一

自然科学研究支援開発センター
教授



15:00- 生理学・医学賞 医療が大きく変わる!? 修飾mRNA技術

保田 朋波流

大学院医系科学研究科
教授



講演終了後 質問コーナー

■ アクセス

バス:JR広島駅→南口バス乗り場 広島バス(50号東西線)アルパーク方面行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分
電車:JR広島駅→市内電車乗り場 広電1番広島港行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■ お問い合わせ

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

Email:ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp
Tel:082-424-4384

2023年ノーベル賞の各テーマ及び受賞者

- 物理学賞 電子の動きを捉えるアト秒の光
 - アメリカ オハイオ州立大学 ピエール・アゴスティーニ氏
 - ドイツ ルートヴィヒ・マクシミリアン大学 フェレンツ・クラウス氏
 - スウェーデン ルンド大学 アンヌ・ルイエ氏

- 化学賞 量子ドット:7色に光る不思議な微粒子 -TV、太陽電池、がん治療へ
 - アメリカ マサチューセッツ工科大学 ムンジ・バウエンディ氏
 - アメリカ コロンビア大学 ルイス・ブルース氏、
 - アメリカ コロンビア大学 アレクセイ・エキモフ氏(旧ソ連出身)

- 生理学・医学賞 医療が大きく変わる!?修飾 mRNA 技術
 - アメリカ ペンシルベニア大学 カタリン・カリコ氏
 - アメリカ ペンシルバニア大学 ドリュー・ワイスマン氏